生物多様性自治体ネットワーク　Topics　（R8.11.6 配信）　加盟自治体数 203

生物多様性自治体ネットワーク加盟自治体の生物多様性に係るホットトピックを定期的に取りまとめ、自治体間で事例の共有を図るとともに、対外的な発信をおこなうものです。

★12 月配信の記事募集中（〆切 11 月 25 日(水)）会員等に共有いただける記事を募集中です！

生物多様性自治体ネットワークについて https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/j-gbf/nlgb/

●(学生連携事例)名古屋市役所西庁舎生物多様性緑化花壇における学生手作り看板の設置【名古屋市】

名古屋市では、西庁舎の生物多様性緑化花壇において、名古屋 ECO 動物海洋専門学校の学生と連携し、植物解説看板を設置しました。花壇には地域の在来種を中心とした多年草や木本を植栽し、生物多様性に配慮した緑化を実践しています。一方で、これらの植物は一年を通じて花が咲いているわけではなく、開花していない時期には植物の魅力が伝わりにくいという課題がありました。

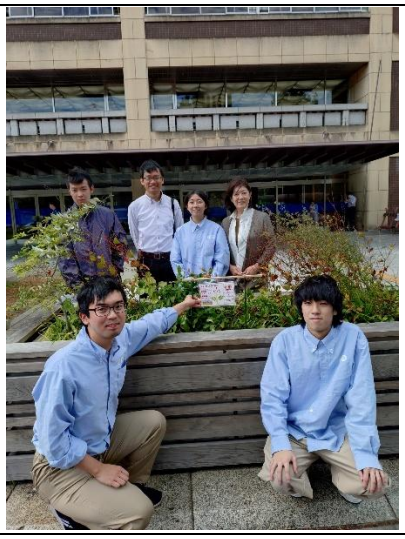
今回設置した看板には、植物のイラストや特徴、見どころを分かりやすく掲載するとともに、「めくる」仕掛けにより詳細な情報を閲覧できるよう工夫しています。これにより、花が咲いていない時期でも来庁者が植物への理解を深めながら花壇を楽しむことができ、生物多様性緑化花壇の魅力向上につながっています。また、学生の発想を活かした参加型の普及啓発として、生物多様性への理解促進にも寄与しています。

「めくる」様子や看板の詳細については、名古屋市公式生物多様性 Instagram のリール動画をご覧ください。



めくる看板の様子


作業（背景は市役所本庁舎）


花壇の前で集合写真

＜参考＞

めくる看板設置の様子（本市 Instagram へリンク）
https://www.instagram.com/reel/De8oEQpoSLO/?dlrf=b3BveXRpamk2eGFq

名古屋市役所西庁舎生物多様性緑化花壇について
https://www.city.nagoya.jp/kurashi/kankyou/1012463/1034790/1037448.html

＜問い合わせ先＞

名古屋市環境局環境企画課　担当：房村
TEL：052-972-2698　Mail：a2662-01@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

●森林保全体験を通して生物多様性を学ぶバスツアーを実施しました【名古屋市】

10 月 17 日（土）に小学 5 年～中学生とその保護者を対象に岐阜県下呂市を目的地としたバスツアーを実施しました。

このバスツアーは森づくり体験や里山林の散策などを通して、生物多様性とその恵みを体験することを目的としています。目的地である岐阜県下呂市の森林は名古屋市の水を支える木曽川の支流である飛騨川源流域となっており、森林の機能や上流域と下流域のつながりも学ぶことができます。

当日は、なごや生物多様性センターから岐阜県下呂市馬瀬西村にある美輝の里へ約 3 時間かけて移動しました。

現地では、下呂市における林業の歴史や、林業と水のかかわりについてのお話を聞き、地元の食材をたっぷり使用したお弁当を食べてから、林業体験を行いました。

ノコギリを使って間引く予定の樹木を伐採するとのことで、「木の倒れる方向を考え周りに人がいないことを確認して作業をすること」「まずは小さな木で練習をすること」等安全に体験するための説明をしっかり聞いてから行いました。

参加した方々は、初めはノコギリの扱いに苦戦していましたが、徐々にコツをつかんで、より大きな木の伐採に挑戦していきました。

今回の伐採の目的は、資源として樹木を伐採するだけではなく、森林を整備して、心地よい空間を作り、企業の方や、一般の方が自然と触れ合うことができる場所にしたいとのことでした。

最後は今回の体験で伐採した木を小さく切って、記念に持ち帰りました。

林業に携わる方々の話や、伐採の体験を通して、森林整備と水と私たちの関わり合いを学び、また、新たな森林整備の在り方について知る貴重な機会となりました。

		
地域おこし協力隊のお弁当	林業体験の現場	林業体験の様子

＜ウェブサイト＞

なごやいきものライブラリー（https://ikimono.city.nagoya.jp/）

＜問い合わせ先＞

なごや生物多様性センター　担当： 江宮

TEL：052-831-8104　Mail：bdnagoya@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

●きょうと☆いきものフェス！2026 を開催しました【京都府京都市】

京都府では、京都市と協働で設置した地域生物多様性増進活動支援センターである「きょうと生物多様性センター」と共催で、9 月 26 日（土）、27 日（日）に京都府立植物園で「きょうと☆いきものフェス！2026」を開催しました。いきものに関わる団体や学校、個人、行政等の約 80 団体が参加し、ブース展示やワークショップ、自然観察会等を実施しました。2 日間で約 8,200 名の方に御来場いただきました。

<table>
<tr><td>
</td><td></td></tr>
<tr><td>チラシ</td><td>自然観察会</td></tr>
<tr><td></td><td>
</td></tr>
<tr><td>会場の様子</td><td>ブース展示</td></tr>
</table>

＜ウェブサイト＞

https://www.pref.kyoto.jp/biodic/news/ikimonofes2026.html

＜問い合わせ先＞

京都府総合政策環境部自然環境保全課　担当：川田

TEL：075-414-4706　Mail：shizen-kankyo@pref.kyoto.lg.jp

●自然共生サイト「小森川」にて市民参加型自然観察会を開催しました【長崎県佐世保市】

佐世保市では、令和 8 年 9 月 19 日及び 10 月 3 日に、自然共生サイト認定されている小森川（三川内地区）において、自然観察イベント「小森川いきものたんけん秋の陣～俺たちの小森川水族館を作ろう！～」を開催しました。

本イベントは、九十九島水族館海きららの職員さん協力のもと、市民の皆さまに小森川の豊かな自然や生物多様性について、楽しく学んでいただくことを目的として実施したものです。

当日は、参加者が川に入り、たも網やもんどりを使用して魚類やエビ類、水生昆虫などの生きものを採集しました。その後、水槽を水族館に見立て、チームごとに採集した生きものを水槽に展示し、「小森川水族館」を制作しました。また、海きららの職員さんによる解説を通じて、生きものの特徴や生息環境を学び、小森川の自然環境への理解を深めました。

小森川は、令和 7 年 3 月 14 日に自然共生サイトに認定されており、本市では市民参加によるモニタリングや環境学習を通じて、地域の自然資源の価値向上や生物多様性保全の推進に取り組んでいます。

イベント終了後のアンケートでは、「自然への関心が高まった」「楽しかった」「また参加したい」などの意見が多く寄せられ、自然共生サイトを活用した環境教育の効果を確認することができました。

今後も、小森川をフィールドとした自然観察会や市民参加型モニタリングを継続し、市民や関係機関との生物多様性保全に取り組んでいく予定です。

なお、採集した生きものは、観察会終了後、川へ放流しました。









＜ウェブサイト＞

https://www.city.sasebo.lg.jp/kankyo/zeroca/event/r8sizenevent2.html

＜問い合わせ先＞

佐世保市ゼロカーボンシティ推進室　担当：西野

TEL：0956-37-6255　Mail：　zeroca@city.sasebo.lg.jp

※ダストンくん（佐世保市環境部Ｘ）：https://x.com/duston_4R

●音声 AI を活用した生物モニタリングの実証実験の実施について【神奈川県相模原市】

音声 AI を活用した生物モニタリングの実証実験を株式会社奥村組との包括連携協定事業として開始しました。この実証実験では、生物の音声を 24 時間連続して収集し、AI による種の判定（鳥類を中心に哺乳類、両生類、昆虫など）を行います。人手によるモニタリング調査などの従来の調査と比較して、音声 AI を活用した生物多様性モニタリングの適用可能性について検証します。

実施場所の木もれびの森は、市街地の中に広がるまとまりある樹林地で、首都圏において良好な自然環境を有する貴重な緑地であり、多様な生物の生息・生育しています。

本市では、2018 年から市民協働により市内に生息・生育する生物の調査を継続的に実施しています。既存の調査に加えて、音声 AI を活用したモニタリングによって得られたデータを蓄積し、そのデータを可視化して、生物の生息状況や変化をわかりやすく伝えることで、生物多様性の普及啓発につなげる方法について検討していきます。

	
モニタリング機器と太陽光発電システム	収音マイク

＜ウェブサイト＞

相模原市：https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000619.000072959.html

㈱奥村組：https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000073.000126184.html

＜問い合わせ先＞

相模原市環境経済局環境部水みどり環境課　担当：夏目

TEL：042-769-8242　Mail：midori@city.sagamihara.kanagawa.jp

●事務局からのお知らせ

＜その他依頼事項＞

令和 9 年 2 月開催の第 16 回定期総会を名古屋市で実地開催することにつきまして、準備ができ次第出欠確認を行います。ぜひ実地での参加をご検討ください。

（同日に開催される市民向けシンポジウム（名古屋市主催）、地域連携フォーラム（J-GBF 主催）にもご参加いただけます。）

〇第 16 回生物多様性自治体ネットワーク定期総会

日時：令和 9 年 2 月 21 日（日）16：00～17：00

場所：鯱城ホール（名古屋市中区栄一丁目 23 番 13 号　伏見ライフプラザ内）※オンライン有

〇なごや生物多様性エクスカーション

日時：令和 9 年 2 月 22 日（月）13：30～16：30

視察場所：名古屋市内の自然共生サイト（なごや東山の森、八竜緑地・金城学院大学の里山）

<J-GBF ネイチャーポジティブ行動計画における本ネットワークの指標の進捗状況>

指標	基準日※の数値 ※行動計画承認日（R5.9.12）	現在の数値 （R8.11.6 時点）	基準日からの増減
生物多様性自治体ネットワーク加盟自治体数	193 自治体	203 自治体	＋10 自治体
加盟自治体における 30by30 アライアンス加入数	33 自治体	65 自治体	＋32 自治体